

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成 23 年 7 月 20 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	870101904		
法人名	衛検産業 株式会社		
事業所名	グループホーム ハイジの丘	ユニット名	上市
所在地	〒 310-0844 茨城県水戸市住吉町302-1		
自己評価作成日	平成23年 7月20日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>私達は、地域を大切にしています。町内会にも加入しているので地域のお祭りに呼んでいただいたりしています。近くの小学校の運動会の時には、歩いて学校まで行き子供達が走る姿を応援してお茶を頂いたりしています。校長先生にも声を掛けて頂いたりします。春は暖かい時間を見てお花見に車で出掛けて「お花見」に出掛けます。去年は桜を観に福島県方面へ全員で1泊旅行へも出掛けました。皆で入った温泉はとっても気持ち良かったです。（今年は地震の為に中止になりました）夏は、地元の夏祭りに呼んで頂いています。秋は敬老会を開催し地元の方が手品・フラダンス・民舞（市民センターの所長さん）・ガールスカウトの訪問等があります。冬は忘年会を開催します。毎年、年の暮れに町内の青年部の方がいらして「蕎麦打ち」を行います。利用者さんも一緒に行きます。とっても上手な方もいらして青年部の方もびっくりしてしまう程です。皆で食べるお蕎麦（鴨汁）を毎年楽しみにしています。施設の庭には畑もあり四季を感じる事が出来ます。利用者さんと畑を耕し種を蒔き収穫しています。もちろん収穫した野菜は皆さんで食べます。今年はスイカと南瓜も植えました。職員の家族が藁を敷いたりして手を掛けて下さいます。そして、全員毎日入浴をし汗を流しています。たまに入浴剤を入れて温泉気分を味わう時もあります。現在の利用者さんは寝たきりの方もいません。リハビリを履いている方もいらっしゃいません。たとえリハビリをはいて入所してきてもトイレ誘導をして普通のパンツをはいていただいています。幾つになるまでも、人が人らしく一人ひとりが快適な暮らしができるように支援しています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、夜勤者と日勤者の引継ぎの際「理念」を唱えます。毎日、理念を唱える事で管理者と職員一人一人が共有し同じ目標を持ちより良い介護を提供する事が出来ると考えております。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元のお祭り等に参加したり、小学校の運動会等にも皆さんと一緒に参加しテントの下でお茶を頂いたり子供達の走る姿を応援しています。毎朝の散歩道でゴミ拾い等も行い少しでも地域の役にたつように行っております。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の民生委員の方々が「地域運営委員」になって頂いているので時々相談などに乗って頂いたりして助かっております。そして、近隣の学校からも「職場体験」等を経験しにくる生徒さんを受け入れております。生徒さんは施設で様々な事を学び帰って行く姿を見ると私達も嬉しくなります。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月置きに「地域運営委員会」を開催しております。開催時に毎日行った事等を報告させて頂いておりそこで委員の方々に貴重な意見等を頂きサービスの向上になるように生かしております。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	水戸市の職員の2名が「地域運営委員会」に参加して頂いております。日ごろから市役所の方々と連絡も密にとり相談等にも乗っていただいております。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内には「身体拘束をしないケア」の参考資料等を完備しております。その書類を目に見える所へ置き職員が共有できるようにしております。「身体拘束をしない」のポスターも施設内に貼っております。毎月行っている「カンファレンス」でも「身体拘束をしないケア」についても職員と管理者が話し合っております。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の中では1ヶ月に1度、研修会等に参加しております。そこで学んだ事を参加出来なかった職員に資料等を提供し勉強会等を開いております。そして新しく入所した職員には特に念入りに行っております。職員が利用者さん同士でのイジメ等も起こらないように注意しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、利用者さんが「成年後見制度」を使っている方がいらっしゃるので良い制度だと思う今日この頃です。「成年後見制度」の研修会を職員も参加したのでその資料を回覧して皆で勉強しました。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者さんご家族との契約の際には、2部用意してお互いに保管しております。そして、契約内容を説明しご一読頂きその後に契約を結んでおります。その際、不安点・疑問点等に細かく説明させて頂いております。そして、お互いが納得した上で契約をさせて頂いております。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会には利用者さんご家族がひとり参加して頂いています。委員会内での質疑等は内容をまとめ次回に提出させて頂いております。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に何度か職員と食事会を開いております。そこで出た意見等を今後の運営に反映させて頂いております。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	家族と暮らす人・子供を抱えて働いている人。それぞれの家庭環境があります。その人が働きやすい環境を作り仕事にやりがいを持って働いて頂きたいと考えています。そこで、出来るだけ長く働いて頂く為に勤務年数ごとに時給が上がるシステムになっています。シフト作成前に本人の希望休を聞いています。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員ひとりひとりに向上心を持って貰えるように「資格手当」があります。資格取得月から手当を出しています。そして講習会・研修等が開催される時には参加しております。参加出来ない職員には資料を「回覧」で回しております。
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修等で参加して知り合った同業者の方々と互いに情報を共有し施設内の向上にも繋がっております。施設長も施設長同士の交流会に参加しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自分自身の事を話すと利用者さんも心を少しずつ開いてくれるように思われます。やはり、入所したばかりの方は不安でいっぱいだと思います。なるべく同じ目線で話をさせていただいています。少しずつ距離が縮んで行く様に。そして、施設内での生活に慣れて行く様に心がけています。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設に入所する前に色々とお話をさせて頂いています。利用者さんの一日の生活の流れ等を教えて頂きます。そして現在、ご家族が抱えている不安・心配事を早い段階で話し合い協力できるように心がけております。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたり見学をご家族そして本人にもお願いしております。お互いがお互いの事を知る為に必要な事だと考えています。そこで現在の家族の要望・ご本人の要望をお聞きしています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、介護をするだけではなく年上の方として尊重して接しています。一緒に料理を作ったり施設内にある畑を耕したりして色々な事を共に行っています。そこで利用者さんと職員さんの新たな関係を築きあげていっています。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんのご家族で野菜を作っている方等がいらっしゃいます。季節の野菜を届けてくれたりします。とってもありがたい事です。ご家族の方が届けて頂いた物等は「○○さんのご家族が届けてくれた」と言う事を必ず伝えるようにしてご家族との絆を大切にしております。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔、利用者さんが住んでいた所の近所に住んでいた方が自転車に乗って遊びにきてくださる事があります。そんな関係が途切れる事がないように・・・今までの暮らしの延長として施設での生活が出来るように支援していきたいと考えています。お花見等に行く時には今まで住んでいた近く等を通り「ここに住んでいたね」等話をして今までの生活を振り返ったりしています。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	すべての利用者さんには長い人生があり性格も違いますが気のあう人もいらっしゃいます。職員が間に入り利用者さんと話をすると不思議と利用者さん同士の共通点等が出てきてそこで仲良くなる方もいらっしゃいます。孤立しないような関わりをし皆で支えあうような関係を作っております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院して退去した利用者さんのご家族が遊びに来る事もあります。「近くに来たから寄ったよ」と寄り道してくれます。その時に現在の入院状態を知らせて頂いたりしております。入院中もお見舞いに行ったりしてご家族の相談等に親身になって乗っています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	皆さんの思い出はそれぞれ違いますが全員の方が家に帰りたい。ただそれだけの様な気がします。家に帰る事が出来ない方の為に亡きご主人の「お墓参り」等を探す旅を企画中です。利用者さん達の笑顔が増えていく事。そして生活にハリが出る事を心がけています。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご家族に今までの生活をお聞きします。畳での生活だったのか？ベットの方が寝起きがしやすいのか？施設には畳みのお部屋もありますので今まで畳で生活していた方が生活しやすいように等と色々とお話をさせて頂いています。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の流れとして昼間は昼間の生活を送り夜間は寝る時間なのでゆっくりと休んで頂く様にしています。昼食後お昼寝の時間を30分間設けています。（その時にはアルコールをBJM）として流しています。そして「自分の事（出来る事）は自分でしましょう」が口癖で皆さんで頑張ってもらっています。なかなか自分で出来ない方もいらっしゃいます。その時には手を差し伸べます。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1カ月に1度「カンファレンス」で5～6人選びケアマネさんに計画の作成の為に話し合いを持っています。その時に疑問点等をスタッフ間で話し合います。スタッフが同じ方向を向き利用者さんがより良い生活が送れるように。と考えています。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスの後に変わった事があった時には皆で見る事ができるように「回覧ノート」に記入しスタッフが見たらそこにサインをして頂くようにしています。朝、夜勤者との引継ぎの時に見直しをしたりしています。勤務にはスペシャル日勤があります。スペシャル日勤の職員は気になる利用者さんに話を聞いて記録します。その際には杖等を使用せずに心のドアを開いて貰うように心がけています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	季節の行事として春お天気が続いて桜が満開になった時には「今日はお花見に出発」とすぐに実行に移します。来年の5月の頃には利用者さんのご自宅に「お茶摘み」に行く予定です。そして、毎年年末には地元の青年部の方々が「そば打ち」にも来て頂いています。一緒に蕎麦を打つ手にも力が入ります。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お散歩に皆さんで行く時には会った人と挨拶を交わし馴染みの顔も出来ました。途中立ち話をしたりしています。お花を頂いたり、時には果物を散歩途中で頂いたりしています。（庭の柿・庭のいちじく等）そして私達は敬老会等に出席して頂けるように声を掛けています。
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診の時には「家族」と言うのが施設の希望です。皆さんの入所時にお伝えしています。時には不可能な時もあると思いますのでその時にはお手伝いしています。なぜ、病院受診が家族と言う理由は、家族との関りが消えないからです。1ヵ月に1度位は家族と顔を合わせるのも必要だと考えているからです。
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活支援の中で心身に異常を認めたときに看護職員に報告があり早期に医療機関に繋げています。毎日2回バイタルチェックを行い午後の検温で高めの方は入浴前に再検しています。（高血圧の方は入浴前に毎回計ります）水分等のチェック判断を行い事故の防止に努めています。
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は職員がお見舞いに行きその報告を受けています。その報告で経過情報を得ています。退院受け入れに対しては施設長の指示により管理者と看護師の同伴で入院先に訪問し当方の判断をDr・N・相談員等の医療関係者の判断・意見を基に協議判断の上受け入れの可否を判断しています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の受診が望めないことが多いので病状変化進行についてDrより説明等は家族に伝え協力を得る様にしていますが早い段階に家族の協力を得られるように連絡以来を密にしています。事業所で出来る限りを説明して理解と協力を得ています。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故発生時の初期対応はほぼ全員が得ています。事故発生時にはカンファレンスを臨時に開き検討しています。急変時は施設長判断で救急車対応もひとつの事項としています。
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回火災訓練を地域・消防の協力を得て行っています。火災・災害に対する国・県が定めている設備を完備してあります。職員の周知徹底を行っています。2階から直接外へ出る事ができる非常階段を設置してあります。非常階段を使用して非難訓練も行いました。消防法に基づき「スプリングクラー」も設置しました。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	皆さんは一人部屋です。自分のお部屋に洗面台とトイレが完備してありますので一人でゆっくりと使う事が出来ます。何か作業をしている時に仲間に入れない時には声を掛け「私が助かる」とか「凄い上手」とさり気なく声を掛けたりしています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	基本的に自分の好きな事をして頂く時間を設けています。編み物が好きな人はマフラーを家族に編んであげたりしていますね。また、インフルエンザ等風邪が流行っていない時に買い物等に行き自分で洋服等を選んで頂いたりしています。その際には予算も決め自分で計算もして頂いたりもしています。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設なので一日の流れはありますが午前中、自分が好きな事をして頂いています。裁縫・編み物・ドリル・プラモデル作り・塗り絵・ジグソーパズル等自分がしたい事をして頂いています。施設に来て初めてプラモデルを作り「ここでこんな事が出来るとは思わなかったよ」と喜んでいらっしゃる方もいらっしゃいます。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人にあった洋服を着て頂いています。施設内は女性が多いので施設長の知り合いで化粧品会社の社長さんがいらっしゃいます。今度、その方が「お化粧品」を教えに来てくれる予定です。職員も楽しみにしています。その他に2ヶ月に1度理容師さんが髪の毛をカットしに来て頂いたりもしています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台所に皆さんも立ちたくなくて困っています。喧嘩等のトラブルを防ぐ為に当番を決めたり、その時なにもせず寂しそうにしている利用者さんに声を掛け台所の手伝いをして頂いたりしています。色々と職員も大変です。皆さん台所の後片付け等も快く手伝って下さいます。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今までは栄養士の資格を持つ職員がいたので相談に乗って頂いていました。季節の食べ物を中心に考えています。今の季節は特に水分には気を掛けています。お茶の時間は10時・15時・入浴後・食事の際に摂取します。麦茶は台所のカウンターに置いてあり、誰でもすぐに飲めるようにして水分を進んで取らない利用者さんには声を掛けて摂取して頂くようにしています。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎晩、寝る前に口腔ケアを行っております。義歯の方も義歯をはずすだけではなく口腔内を洗浄して頂いています。夜間義歯はポリデント等に付けて洗浄しています。朝の洗面が終わった時に義歯をお渡しします。食事前に職員が見守る所どうがい（緑茶）の実施、食後には緑茶を頂きます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレを誘導する方には全員が把握できるように「排泄表」を付けています。その際、職員全体で把握できるようにしています。その方により誘導の時間帯等を決めて排泄の支援を行っています。夜間もトイレへ誘導し失禁の無いように自立した生活が出来るように支援しています。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、便の有無を聞きます。「出ていないよ」と言う利用者さんの部屋を確認すると排便跡があったりします。温度表に排泄表に記入し対応しています。排泄が無い人には下剤を使用したりするだけでは無く、水分を多く取って頂いたりしています。そして、食事では繊維が多い物を心がけ、ヨーグルト等を食べて頂く様にしています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日です。入浴の順番はローテーションです。仲の良い利用者さん同士で入浴して頂き毎日の入浴を楽しんで頂いています。その季節に合わせて楽しんで頂いています。たとえば5月には菖蒲を入れたりしています。冬至の時には「ゆず湯」を楽しんでいます。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣が違いますが皆さん夜は21時前にはお休みになります。早い方だと19時頃にお部屋に入って行ってしまいます。皆さんは個室でベッドの方もいらっしゃいますがお布団を自分で敷いて休まれる方もいらっしゃいます。その人その人の生活スタイルを大切にしています。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりのファイルに病院で処方していただいた「薬表」を保管してあります。薬の目的・副作用を十分に理解して処方された薬が変更になった時には引継ぎの時に報告しています。服薬の際には職員の前で服薬して頂いています。飲み残し飲み忘れ等が無いように心がけています。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設内には畑があるので畑を耕したりしています。四季の変化を庭の草花で楽しむ事が気分の癒しになっている方もいらっしゃいます。台所でご飯の準備を手伝ってくれる方もいらっしゃいます。台所のお手伝いの醍醐味は「味見」のようです。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎朝、公園へ全員で散歩に行っています。毎年、秋になると「梨狩り」に行きます。皆さん楽しみにしている行事の一つです。去年の春は全員の利用者さんと一泊旅行へバスで行きました。温泉に入り桜をみたり水族館へ行ったり袋田の滝を観光しました。今年は「葡萄農家」の方と知り合いになれたので葡萄狩りに皆さんで出掛けたいと思っています。地域の人と交流として毎年小学校の運動会を見に行きます。日々の交流を大切にしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、所持して自由に使用するお金は公衆電話代の100円～50円位です。無くなった時には施設長の所へ行き補充して頂きます。施設内で300円をお渡しして買い物等をした事もあります。みかん・お菓子・飲み物等を購入しました。レジ係りは職員です。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>玄関の入り口に「公衆電話」を設置しています。そこで自由に家族に電話をしています。散歩コース中に郵便ポストがあるのでお兄さんに葉書を出したりしていた方がいらっしゃいました。住所は自分で覚えていたようで、戻ってはきませんでした。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝、利用者さんと職員で掃除をしています。自分の部屋は基本的に利用者さんが行きます。職員用の1週間の掃除スケジュールもあります。そして施設内は家庭的な雰囲気になっています。個室にもトイレがありますが刺激的な色等は使用せず白を基調としています。リビングには季節の花等を飾ります。庭に咲いている花等を飾ったり、職員が自宅の庭から金木犀等の花を摘んできてくれる事もあり皆さんで香りを楽しんでいます。中庭があり雨の時には口の廊下を歩いています。ずっと歩いても同じところに戻ってくるので徘徊がある方でも安心です。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>施設内のリビングは約18坪位あります。そこには9人座れるソファがあります。気の合う仲間とソファに座ってコソコソと話している姿を見かけます。リビングの隣には和室もあり冬にはこたつを出します。一人になりたい方は個室でゆっくりと過ごされています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所する時にはまず自分で使用していた布団等を持って来ます。これが一番大切だと思うので声を掛けています。家具等は使えるのがある方だけ持ってきて頂いています。使い慣れた針箱・編み棒等。亡き夫の写真を部屋に飾って毎朝、ご飯をお供えする方もいらっしゃいます。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>洗濯物を自分で干したり取り込んで畳んだりしてなるべく自分の事は自分で行っています。毎朝、自分の部屋の掃除機を掛けトイレも職員の見守りで掃除をしています。自分で出来る事は自分で行ってもらうように心がけています。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない